

# アクティブ福祉

第51号  
2022.12

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 機関誌



特集「福祉・介護職場への就職や福祉を学ぶ学生のいま～コロナ禍の影響や現状」座談会の様子



暖炉の灯に癒されて (撮影：特別養護老人ホーム清明園)

P2-3

## 特集

### 福祉・介護職場への就職や福祉を学ぶ学生のいま～コロナ禍の影響や現状

P4-5

## 東京ケアリーダーズが行く！うわさの施設

2021年「東京の介護ってすばらしい！グランプリ」写真部門・レシピ部門 最優秀賞  
「養護老人ホーム 浅川ホーム」

P6-7

## 新時代旋風

デジタル推進委員会の活動について

P8

## ブロック活動だより

八王子ブロックの取り組み

P13

## 東京ケアリーダーズ活動紹介

私が介護士になったきっかけ

P16

## 東京の介護ってすばらしいグランプリ2022 作品募集中!

p9... ● 専門委員会リレートーク  
第18回：経営検討委員会

p10... ● 養護分科会トピックス

p11... ● 軽費分科会トピックス

p12... ● センター分科会トピックス

p14... ● 職員研修委員会トピックス

p15... ● 私の心に残るエピソード

p15... ● 編集後記



高齢協  
ウェブサイト



Instagram



高齢協  
会長  
@koureikyou



YouTube



東社協  
東京都高齢者  
福祉施設  
協議会



# 福祉・介護職場への就職や福祉を学ぶ 学生のいま～コロナ禍の影響や現状

新型コロナウイルス（以下、コロナ）の流行以来、福祉や介護を学ぶ学生を取り巻く環境は大きく変化しました。本特集では、養成校教員と施設の人事担当者によるオンライン座談会を通じて、コロナ禍がもたらした学生への影響と、学生支援のために教育機関と施設が取り組むべきことなどをお伝えします。

※本座談会は令和4年10月31日にオンラインで開催されました。発言や肩書は当時の状況に基づきます。

## 参加者（敬称略）

日本社会事業大学 社会福祉学部 准教授  
日本福祉教育専門学校 介護福祉学科 学科長  
特別養護老人ホームひのでホーム 広報戦略課 マネジャー  
特別養護老人ホームはるびの郷 副施設長  
特別養護老人ホーム第二光陽苑 生活相談員  
進行：特別養護老人ホームあかね苑 施設長

ながしま 永嶋 昌樹  
ほそ の 細野 真代  
せきざわ 関澤 孝文  
とくやま 徳山 滋久  
あきもと 秋元 拓  
おおすみ 大住 まさる 優

## コロナ禍による学生への影響

**大住** はじめに、福祉教育現場へのコロナ禍の影響を聞かしてください。

**永嶋** 授業のオンライン・オンデマンド化を余儀なくされました。現在は授業規模によってオンラインと対面の形式を使い分けています。通学日数も、感染状況や社会の捉え方に応じて変更されています。授業の前後の雑談、先輩後輩とのつながり、サークル活動など、人とふれあう大切な機会が少なくなってしまうと感じています。



永嶋 昌樹氏

**細野** 受け入れ施設でコロナが発生し、実習にいけないケースがあり、3割程度の学生に履修の遅れが出ています。その場合には新たな実習受け入れ先を調整します。学生は実習、カリキュラム変更など様々なことに不安を感じている印象です。

## 施設での実習受け入れへの取り組み

**大住** 施設での実習受け入れにおける取り組みや工夫をお聞かせください。

**関澤** コロナ禍での介護の現場のリアルな状況や対応を学んでもらっています。工夫して実施した

イベントの見学などにより、充実した実習が出来たという養成校からの報告もありました。

**秋元** 当施設では実習受け入れの時期に施設内でクラスターが発生し、養成校にご迷惑をおかけしました。受け入れに際しては、健康チェック表への記入やPCR検査、コロナ発生時には実習中止とする対応の了解などを、学生に依頼していました。

**徳山** 当施設では養成校からの依頼を受け、代替実習という名称で、施設の介護ノウハウを動画にして、オンラインで質疑応答を行う形式の受け入れを行いました。また、養成校へ職員を派遣する代替実習もありました。一昨年には独自のコロナ禍における実習受け入れ基準を作成し養成校へ連絡しました。



徳山 滋久氏

## 感染症に対する学生の学びと意識の変化

**大住** コロナ禍の実習に対する学生の意見・動向をお聞かせください。

**永嶋** 学生は様々な制約を受けましたが、新たな気づきもあったと思います。現場での的確なコロナ対応を見られたなどのポジティブな意見もありました。コロナ以外の感染症リスクへの意識づけにもつながっています。



**細野** 昨年、一昨年は就職への不安が見られましたが、本年度からはそうした相談は減少しました。この数年は実習先に就職する傾向があります。ネガティブな部分では、本来行きたい施設種別の実習が来ず、就職先の選択肢が絞られたケースも考えられます。ご利用者の家族面会の様子を見て、家族の重要性の理解や、自身の介護観の確立につながったと感じるような生徒の声もありました。



細野 真代氏

## オンライン化のメリットを学生の学びへ活かす

**大住** コロナ禍で発展したオンラインの手法は、今後はどのような活用が考えられますか。

**細野** 様々な可能性、例えば、多数の施設の雰囲気やオンラインで比較できることや、利用者とのオンライン交流などが考えられます。様々なメリットを生かせる授業形式を今後も模索したいですね。

**徳山** 養成校へのお出張授業などの代替実習も学生は楽しんでいただけたようです。様々な形式をハイブリッドして、それぞれのメリットを活かせる授業や実習の新たなスタンダードを作れるよう、施設側も協力していきたいと思っています。

## 学生へ伝えたい施設の地域との関わり

**秋元** 当施設では実習生に、近隣の小中学校での車いす体験や認知症サポーター養成講座に参加いただきました。小学校とのオンライン交流もスタートしています。これらの取り組みは実習生に好評ですが、裏を返せばコロナ流行前に当たり前存在した地域との関わりが、コロナ禍の学生には認識されにくかったということです。今後、積極的に施設の地域交流の在り方を学生に伝えていきたいと思っています。



秋元 拓氏

**関澤** 当施設は徐々にボランティアの受け入れを始めていますが、感染を恐れて自宅にこもっている元ボランティアの高齢者の方もいます。私たちが地域に出て、そのような方々の支援をすることが必要になると感じています。



関澤 孝文氏

## リアルな人とのつながりやイベントの体験からの学びを

**大住** 最後に、養成校から施設への要望をお聞かせください。

**永嶋** 授業の中で学んでいても、いざ実習に入ってみると、どのように対応してよいのかわからない場面があります。学生は実習指導者の方から、現場だからこそ学ぶことができる様々なことを学びます。そして、適時のフィードバックが本人の成長につながります。コロナにより指導が受けられないことは大きな損失ですので、日ごろの感染対策を引き続きお願いします。福祉教育は、施設と養成校の両輪で成り立っています。これからも相互に連携して後進を育成していきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。

**細野** 新カリキュラムでは地域における生活支援が重要視されていますが、そのような取り組みを、ぜひオンラインを活用して伝えてほしいと思います。また、グループワークやイベントの開催などの機会が減少しています。介護職には仲間と話し合い、イベントを企画し実践する仕事もあり、そのような体験は重要です。施設でイベントを実施の際には、学生に見学・体験のお誘いを頂けると嬉しいです。

**大住** 直接人と接する福祉業界において、学生時代に人との関わりが少なくなることの影響は大きいと思います。後進育成や地域の活性化のためにも、施設でもそのフォローに取り組みたいと思います。本日はありがとうございました。



大住 優氏

■記録・編集：東京新聞 木下 聡文

\*参考) 東社協 地域福祉推進委員会では、令和4年5月に「コロナ禍における実習や体験機会の減少による福祉人材確保・育成への影響に関する調査結果」を取りまとめ、公表しています。

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/chosa/documents/zissyuchousa.pdf>



\*この記事のより詳しい内容は、高齢協ホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/index.html>



# 東京ケアリーダーズが行く！

うわさの  
施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員（約1200施設・事業所）のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験をもつ施設を紹介するコーナー。  
毎回「うわさ」の施設を東京ケアリーダーズが訪問し、お話を伺います。

今回は、高齢者福祉施設での日常のさまざまな場面にスポットライトを当てながら、介護の魅力を発信する「東京の介護ってすばらしいグランプリ（以下、東すば）」写真部門・レシピ部門の最優秀賞を獲得した、養護老人ホーム浅川ホームにお話を伺いました。

その17

2021年「東京の介護ってすばらしい！グランプリ」写真部門 最優秀賞

養護老人ホーム 浅川ホーム やまぐち 山口 かおり 香織さん

## 作品名 ～温もりあるひとときを～ クリスマスの飾りつけをご利用者と共に

2021年の東すば写真部門では、一瞬の写真の中にも、利用者と職員の日常の関係性を感じられる温もりが評価された当作品が最優秀賞を受賞しました。今回の特集では、受賞者の、支援員リーダー 山口香織さんにお話を伺いました。



浅川ホーム 山口 香織さん

### — 今回の写真はどのような場面でしたか

当施設では例年クリスマス会を実施しますが、今回はご利用者と一緒に企画を考え準備をしました。写真はツリーとリースの飾りつけやプレゼントを用意した場面です。ゆったりとした温もりを感じられる場면을写真に残したいと考え撮影しました。

### — 日ごろイベントなどの撮影をする際、どのようなことを意識していますか

普段見られないようなご利用者の活動の風景、表情、楽しんでる様子を写すようにしています。多くの写真を撮るよう心がけています。

### — イベント企画の上で、どのようなことを心がけていますか

最も重要視するのは楽しんでもらうことですが、その上で準備や片付けなどを通じた自立支援ができるように考えています。実際にご利用者にイベントを手伝っていただくと、職員の想定よりもできることが多く、新たな一面が見られることもあります。



受賞作品「～温もりあるひとときを～」

### — イベント企画の上での苦労があればお聞かせください

ご利用者の活動をできるだけ制限しないようにしたいのですが、安全面とのバランスが難しいです。危険を感じる場合には必ず職員が付き添うようにしています。

### — 日常の介護・生活支援で心がけていることをお聞かせください

ご利用者が役割を持って日常生活を送れるよう、菜園づくりや清掃などで、できることをして頂くようにしています。難しいこともどうすればできるかということ、常に前向きに考えるようにしています。

### — 今後写真を通じてどのようなことを発信していきたいですか

世間からは見えづらいかもしれませんが、施設の中で生活しているご利用者が、楽しく笑顔で生活しているということを伝えていければと思います。

### — 受賞作品はひと目でクリスマスの雰囲気が伝わり、見ている私も楽しくなりました。この取材を通じて、自立支援の重要性を改めて感じ、今後意識して取り組みたいと思います。本日はありがとうございました。



上村 那智さん（東京ケアリーダーズ）

■取材：東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ かみむら 上村 なち 那智（偕楽園ホーム）



その18

2021年「東京の介護ってすばらしい！グランプリ」レシピ部門 最優秀賞

養護老人ホーム 浅川ホーム 田丸 由香さん

## 作品名 見ためもカラダもほっこりする南瓜グラタン

2021年の東すばレシピ部門では、見た目もカラダもほっこりできて、世代を超えて家族で楽しめる料理が評価された当作品が最優秀賞を受賞しました。受賞者の栄養士 田丸由香さんにお話を伺いました。



浅川ホーム 田丸 由香さん



井出 日向子さん (東京ケアリーダーズ)

### — 受賞作品のレシピのコンセプトをお聞かせください

募集テーマの「ココロとカラダが喜ぶ介護食レシピ」に沿ってレシピを作成しました。審査項目も意識しており、「家庭で作れる」の点では調理器具や調味料が多くない自宅キッチンで試作、「高齢者への工夫」の点では咀嚼や栄養だけでなく、食事を楽しめるメンタル面でのアプローチなどを考えました。

### — メンタル面のアプローチは、どのようなものでしたか

食事する方の料理を待つときの期待と、作り手の相手を喜ばせたい気持ちの両面でわくわく感を演出できるメニューを考えました。

### — 見た目のインパクトがすごいですね

食事は視覚からの印象も大事ですので、ひと目で「わっすごい、おいしそう！」と思えるものを考え、カボチャを丸ごと使ってインパクトを出しました。

### — 今回のレシピの特徴と、高齢者が食べやすくなるための工夫をお聞かせください

グラタンのトッピングは通常のチーズだと冷めた時に固くなってしまいうため、冷めても固まらないチーズソースを使用しました。かぼちゃはペースト状にしてホワイトソースと3層に重ね、刻み食やミキサー食の方でも食べられるようにしています。

### — 施設での食事提供で、チームで取り組んでいることをお聞かせください

支援員や相談員を含めたメンバーで、交代で刻み食やミキサー食などの準備を行っています。これにより、施設全体の食事に対する関心度が高まったと感じます。



受賞作品 (見た目もカラダもほっこりする南瓜グラタン)

※高齢協ホームページおよびYOUTUBEチャンネルで動画をご覧いただけます。

### — 施設での食事を楽しんでもらうための工夫をお聞かせください

当施設が改修中のため現在は休止中ですが、見守りの上でご利用者に自分のおにぎりを作ってもらうなど、食事を作る楽しさを感じられる企画を実施していました。

### — ご利用者に食事を作っていたかたの様子はいかがでしたか

自作の料理には特別なおいしさを感じていたようです。また昨年、災害対策の一環として屋外でご利用者とカレーを作った際には、具材や隠し味など、それぞれの家庭の味の工夫を楽しそうに話していました。ご利用者主体で料理をしていただくことは、食事の楽しさの秘訣の一つだと思います。

### — 地域に対して取り組んでいきたいことはありますか

施設の改修が終わり、コロナ禍が落ち着いたなら、地域の方とスタッフがおいしいレシピを互いに教えあうような料理教室を開催したいと思います。

### — 今後の目標をお聞かせください

日々のやりがいや自立支援のため、ご利用者に協力いただく食事提供を推進します。給食当番のような提供形式で、子どもの頃の記憶を思い出せるような形も考えています。

### — 取材を通じて、ご利用者と一緒に食事を作ることは、私の施設でも取り組んでみたいと思いました。本日はありがとうございました。

\*この記事のより詳しい内容は、高齢協ホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。



<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/index.html>

\*「東京の介護ってすばらしいグランプリ」については、以下ページにて開催概要、昨年度の受賞作品、今年度の募集(特設サイトへのリンク)等ご覧いただけます。



<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/grandprix.html>

社会福祉法人清明会 養護老人ホーム 浅川ホーム

所在地: 〒193-0841 東京都八王子市裏高尾957 TEL: 042-661-1514

■取材: 東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 井出 日向子 (シャローム東久留米)

■記録・編集: 東京新聞 木下 聡文

浅川ホーム  
ホームページ▶



# 新時代旋風

## デジタル推進委員会の活動について

デジタル推進委員長

すずき けんた  
鈴木 健太

社会福祉法人友愛十字会 砧ホーム 施設長

デジタル推進委員会は、時代の要請に応じて令和3年度に発足した新しい専門委員会です。その目的は、会員施設・事業所におけるデジタルテクノロジー（介護ロボットやICT機器、等）の活用を推進し、定着を図ることにあります。デジタルテクノロジーの活用は、今や介護現場における生産性向上にかかる重要な手法の一つとして位置づけられており、持続可能な施設経営にとって避けることができない実践です。それは、労働者が減少していく社会に適応するための条件とも言えるでしょう。災害や感染のリスクと同じように、人材不足のリスクに対してもBCPがあるとすれば、とうに発動すべき段階を迎えていることに、私たちは気付かなければなりません。

デジタル推進委員会では、①調査、②共有、③発信、④研修の取り組みを重点に活動を進めています。①調査は、会員施設におけるデジタルテクノロジーの導入・活用の実態を把握し、結果の分析・考察から、委員会としての活動の方向性に示唆を得るベースとなる取り組みです。今年度から特養基礎調査に含めて実施することで、データベース化により定量的かつ多角的に動向を捉えられるようになりました。調査結果は、高齢協のHPからご覧いただけます。各施設におかれましては、デジタル化推進のベンチマークにご活用いただけますと幸いです。

②共有は、会員施設が個々に持つデジタル化推進にかかる知見を水平展開するとともに、デジタル化への関心を高めていただく活動です。高齢協の会員数は、施設・事業所を合わせると1,200に上ります。それぞれの施設・事業所における試行錯誤の軌跡は、私たちがデジタル化を進める際の貴重な財産です。最先端の取り組みを展開する施設の一步も、これから始める施設の一步も価値のある同じ一步だと捉えています。委員会では『デジタル

表1 「デジタルシンポジウム in 東京」に過去に登壇いただいた施設・事業所

開催 回	年月	内容	報告（登壇）施設・事業所	主な報告テーマ・機器	視聴回数（2022 年10月末時点）
第1回	2022年2月	シンポジウム	安立園特別養護老人ホーム	Hug を活用した経験	195回
			やすらぎミラージュ	職員同士のコミュニケーションがあるからこそ、ICT 機器を活用出来ることがわかった研究～職員目線で ICT 機器の選定をした結果～（記録ソフト等）	
			フローズ東糀谷	自法人で開発した介護記録アプリと介護ロボットとの連携	
			和敬園	Line Works の活用 ※資料提供のみ	
情報提供	東京都福祉保健財団	介護機器展示コーナー、相談窓口紹介			
第2回	2022年8月	シンポジウム	さんホーム目黒	EGAO link とケアカルテ・眠り SCAN・ナースコールの連動、活用	253回
			偕楽園ホーム	眠り SCAN と Care Palette の活用	
			神明園	神明園における次世代介護機器の活用について（眠り SCAN、ラップボン・エール2、ほか複数機器）	
			情報提供	東京都福祉保健財団	

シンポジウム in 東京』と題して、数施設からの導入事例報告をもとにデジタルテクノロジーの導入・活用のポイントについて、参加者による質疑応答を交えたディスカッション、及び③発信として、東京都福祉保健財団の次世代介護機器体験展示コーナー（同財団福祉情報部福祉人材対策室介護現場改革担当）と連携した情報提供をこれまでオンラインで2回開催しました。開催後には、一定期間、オンデマンドでの配信も行いましたが、多くの会員施設・事業所の皆様にご視聴いただき好評をいただいております。過去に登壇いただいた施設は表1の通りです。また、この度は、本誌での本報告の掲載を機会に、令和5年1月末までオンデマンド視聴を行います。文末に掲載のQRコードからご視聴いただけますので、是非、ご覧ください。

④研修は、外部講師を招致して開催する、デジタル化にかかる学習の機会です。令和5年2月に、主にこれから機器の導入・活用を検討される、または現在検討中の会員施設・事業所対象の研修を開催予定です。

このように、デジタル推進委員会では、会員施設におけるデジタルテクノロジーの導入・活用をサポートし、介護現場改革の一助となれるよう努めております。今後とも、委員会活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### 【第1回・第2回デジタルシンポジウム in 東京を再公開中！】

高齢協 YOUTUBE チャンネルで、2023年1月末まで視聴可能です。ぜひご覧ください。

第1回シンポジウム



第2回シンポジウム



### 【2023年2月21日 オンライン研修開催予定！】

千葉大学特任准教授の小林宏気氏を講師に迎え、「今さら聞けない、今しか聞けないロボット・ICT機器導入・活用の意義と進め方」をテーマに開催します。現在申込受付中です（1月30日メ切）。ぜひご参加ください。



## 八王子ブロックの取り組み

八王子ブロック長

藤寿苑 施設長 **おの 小野** ゆうすけ 雄介

文責：ファミリーマイホーム 施設長 たしろ こうや 田代 航也

### ●八王子ブロックの特徴

八王子ブロックは、八王子市内の特別養護老人ホーム 28 施設で構成されております。市内施設のみの組織構成のため、様々な活動を円滑に進めることができるのが強みです。

そのためコロナ禍以前は、八王子施設長会と連携し、定例のブロック会以外に、研修会の開催や 28 施設の利用者様と職員が一斉に集う風船バレーボール大会を開催しておりました。

コロナ禍からは、オンラインでのブロック会の開催、クラスターが発生した施設への感染対策用品の配布、お見舞い金の寄贈など、コロナ禍でも実践できる活動を継続しております。

### ●コロナ禍での地域公益活動

八王子市内の一部の地域では、近隣施設が協働して地域イベントを少しずつ再開しております。「八王子介護フェア」は3つの社会福祉法人が共同主催し、近隣の医療機関、大学などの教育機関、民間企業など、様々な主体が参画し、地域住民に向けて、楽しく介護を知っていただく福祉イベントです。

今年度は「地域の力を取り戻そう！」というテーマで、令和4年10月29日に開催しました。福祉施設や医療機関の利用者や患者の作品展示コーナー、企業や大学の介護ロボットなどの体験コーナー、体力・ストレス測定コーナーなどの常設ブースを設置しました。

同会場の舞台上では、「住み慣れた地域で介護するということ」をテーマに、在宅介護の家族会の方々などに、経験されてきたことやそれに基づくアドバイスをパネルディスカッション方式で語っていただきました。

また、田園調布学園大学 村井祐一教授の基調講演では、「個人情報利活用」という演題で、地域活動を推進していくための考え方についてご講演いただきました。

当日は、感染対策のため事前予約制としましたが、来場者はほぼ定員数に達し、施設利用者の外出機会を提供することもでき、少しずつではありますが、地域公益活動が再開できるようになったことを実感しております。



▲風船バレーボール大会の試合風景  
(平成30年度)



▲様々な施設が作品を展示されました



▲パネルディスカッションの様子



▲地域住民が大勢参加されました



# 専門委員会リレートーク

## 第18回 経営検討委員会

東京都高齢者福祉施設協議会内の専門委員会\*に所属する委員から、委員会の活動内容や、ご自身の法人・施設・事業所でのホットな話題、新しい取り組み、他施設に教えたい情報を伝えるページです。

経営検討委員会 委員長

社会福祉法人恵比寿会  
フェローホームズ 統括施設長  
もりやま よしひろ  
**森山 善弘**



### ●第22回東京都特養実態調査について

経営検討委員会では、毎年経営実態調査を実施しております。今年度からは高齢協特養基礎調査とともに実施することになりました。今年もご協力ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、予想の施設数には達しませんでした。回収率61.0%、311施設にご協力いただきました。

特養の実態調査は、行政への要望活動の根拠データとしてなくてはならないものになっています。特に東京都の特養では東京都経営支援補助金がなくなると収支が赤字になってしまう法人が多いため、必須の支援でもあり継続拡大を訴えていくことが必要です。

その根拠資料の信ぴょう性を強化するためにも、より多くの施設の調査へのご協力が必要です。皆様の施設の事業経営を円滑に進めるために、積極的なご協力をお願いいたします。

今回の調査は、令和3年度介護保険改正後の初の調査でもありました。通年で新型コロナウイルス感染症の感染防止を行った上で、サービス提供を行っているなかでの、経営調査となりました。収支差額は対前年比0.85ポイント低下の1.28%です。利用者一人当たり単価は、かかりまし費の影響もあり+408円でしたが、利用率が0.34%の低下でした。とても苦しい経営が続いている施設が多いという結果となっております(12月6日第2回特養分科会資料時点)。

詳細についてはこれから郵送されます報告書をご参照ください。

### ●フォローアップ研修の実施について

ご協力いただいた調査結果をふまえて、各施設に送付いたしました報告書や個票等を用いて基本編(1月23日)と実践編(1月24日)に分けて研修を実施いたします。

基本編では、個票を用いた数値を読み解き、経営感覚を養うことを目的に実施いたします。実践編では実態調査結果をふまえ、今後の介護報酬改定の方角性を見据えながら、これからの特養経営に必要な具体的な取り組みについて考えられる内容としております。

より、厳しくなる社会情勢にありながらも、生きぬいていける経営の指標として、有意義な研修になると思いますので、是非多くの方のご参加をお待ちしております。

#### 3. フォローアップ研修について

- ・ **基礎編：1月23日(月)：10時00分～12時00分**  
(オンラインのみ)

個表を用いた経営分析結果の見方を解説すると共に、事業計画書へ反映させるためのフレームワークの活用方法について解説します。

- ・ **実践編：1月24日(火)：10時00分～12時00分**  
(オンラインのみ)

第22回実態調査結果を踏まえた「アウトカム重視の内部・外部環境へのさらなる適応に向けた組織のレジリエンスを高める」ために必要な実践的な取り組みについて、事例を交えて解説します。

© Kawahara Business Management Group

44

今年度のフォローアップ研修の紹介  
(第2回特養分科会資料より)

\*制度検討委員会、経営検討委員会、施設管理検討委員会、利用者支援検討委員会、人材対策委員会、災害対策検討委員会の6つの委員会の総称。各委員会には都内各地域の高齢者福祉施設より20名前後が委員として集まり、それぞれのテーマに沿った協議や研修会の開催等を行っています。



# そのケース、養護老人ホームにお任せください！ 困った時こそ養護です

社会福祉法人愛隣会 養護老人ホーム白寿荘

施設長 え び ぬま たつ お  
**海老沼 達雄**

養護老人ホームは、契約型ではなく老人福祉法上唯一の措置型の福祉施設です。

2000年以降、多くの福祉は措置から契約に移行したことで、残念ながら「措置は昔のもの」という誤った認識を持たれてしまっている方もおりますが、そんなことはありません。介護保険制度は必ずしも万能ではなく、契約型の福祉では救われない方が多くいるのが現実です。契約型の福祉で救われない方が一定数存在する以上、措置型の養護老人ホームの存在意義は、今でも十分にあるのです。

## 養護老人ホームは、こんなケースにお力になれます

### ● 困っているけれど、介護度がついていない……

介護度があれば特養などの契約型施設を利用することもできますが、介護度がない、または自立に近い高齢者の場合、介護保険施設などでは受け入れができません。養護老人ホームは、介護度がない方であっても利用することができます。例えば、虐待保護や緊急立ち退きの場合であっても、養護老人ホームであればお力になることができます。

### ● 介護ではなく一部サポートのみが必要……

介護の必要性はないけれど、日常生活に見守りが必要、放っておくと生活が破綻してしまう、定期的に病院に行くことができない、適切に薬を服用できず体調悪化が懸念される、入浴や清掃など身の回りの衛生が保持できない、バランスの良い食事が摂れない、頼れる人が身近にいないと不穏になってしまう、支払いや金銭管理が苦手……といった場合にも、養護老人ホームがお役に立てます。例えば、病院からの退院先がない、独居生活が限界である、といったケースにも、養護老人ホームであればお力になることができます。

### ● その他、介護保険制度では解決できない諸問題……

上記以外で、介護保険制度では解決できない問題も、養護老人ホームであればお力になれることが多いです。

まずは相談から始まりますので、地域包括や区市町村の窓口にご相談ください。

困ったことは、養護老人ホームが力になります！



畑で野菜を育てます



食事は3食バイキングです







## 軽費老人ホームでの生活もコミュニティの一員として ～感染症対策下で学んだこと～

社会福祉法人東京老人ホーム

東京老人ホーム泉寮 施設長 たか はし むつみ  
**高橋 睦**

東京老人ホーム泉寮（A型100名・個室）は、西東京市（新宿から20分ほど）の南部に位置し、特養・養護2施設と合築の軽費老人ホームです。近隣には、保育園、小学校、中学校、高校、大学があり、また、小金井公園、井の頭公園なども近く、自然にも恵まれた住みやすい環境にあります。

感染症が広がる以前、入居者の皆さんには、さまざまな地域活動を紹介し多くの方が運動、文化の活動に出かけていき、充実した日々を送る毎日で、その支援が職員の役割でした。ところが感染症予防対策が始まり、活動の減少が利用者の心身への影響がみられるようになりました。その中で「楽しみ」については、施設内で大型スクリーンを活用して、仮想の旅行や花見を行ったり、花火大会を観たりと、新しい体験をしたり、心配していた運動は「西東京市しゃきしゃき体操」を行っています。

この体操は、西東京市民の皆さんの足の筋力や全身の柔軟性、バランス能力の向上を目的に、市の歌「大好きです、西東京」に合わせて行う市のオリジナル健康体操です。市内各所への出前講座もありますが、健康課に協力いただき、リモートでしゃきしゃき体操の講座を開き、その後も距離や換気を考えながら、動画に合わせて毎日行っています。

感染症の収束に関わらず、「新しい日常」に向けて職員一人ひとり、さまざまな工夫を行っていますが、地域のコミュニティの一員としての暮らしを、提供することは難しく、さらに直接介護も増え、職員の業務は質・量共に膨らんでいるのが現実です。

軽費老人ホーム職員の業務は、もともと人生の終わりの暮らしと一緒に考えるというなかなかハードな一面があり、時間をかけてかかわる必要がありますから、気持ちと現実の時間の余裕が欲しく、このような職場環境の改善のためにも、この分科会の働きには期待するところです。



リモートで西東京市しゃきしゃき体操

東京老人ホーム泉寮  
ホームページ▶





# BCP(業務継続計画)の為のシミュレーション デイサービスご利用者(ご家族)への 事前アンケート実施

社会福祉法人パール  
デイサービスセンター・パール鉢山

センター長 <sup>あらいともあき</sup> **新井 伴明**

昨今の地震などの自然災害や、感染症が蔓延する中、職員並びにご利用者がデイサービスへの「通い」が困難な事態になることが予想されます。私たち事業者は不測の事態が発生した時の為に、事前にシミュレーションを行い、実効性のある対策を立てることが必要です。

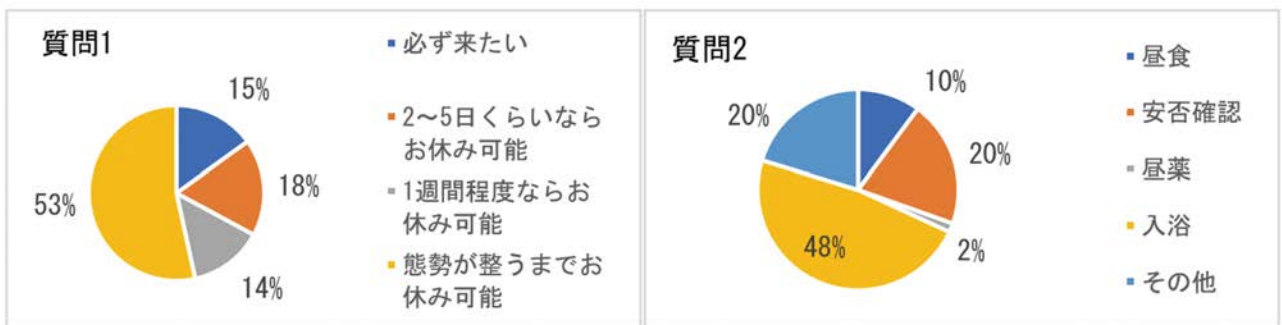
当法人では「突発的な経営環境変化が生じて、サービスを中断させない、または中断しても短時間で復旧させる」ための方針・体勢・手順等を示す計画作りをしています。

デイサービスは、要介護や一人暮らしの高齢者に食事、排泄、入浴などの支援を行う、生活に欠かせない事業です。

今夏、私たちは初心に戻り、ご利用者とそのご家族に、改めて緊急時のデイサービス利用希望についてのアンケートを実施しました。

**質問1. 不測の事態が生じた際に、一時的にデイサービス利用をお控え頂くことは可能ですか？**

**質問2. 不測の事態が生じた際に、デイ利用が困難な時、お困りになる事は何ですか？**



問1では「事業所の体勢が整うまで、お休み可能」との回答を多くいただき、緊迫した使命感から少し解放されました。

問2では「入浴」が最もデイに求められるニーズであることを再認識しました。

「必ず利用」を希望される方々からは、「レスパイト」の時間を要する希望理由が多数聞かれました。その他「安否確認」や「昼食」等の心配も多くいただきました。

このアンケートではご利用者・ご家族の皆様と共に、非常時を乗り越えていく「気持ちを共有」するキッカケとなりました。ご協力いただけのご家庭も多く、日頃のコミュニケーションがいかに大切かも痛感しました。

私たち事業所だけではなく、皆様と足並みを揃えながらBCP対策を作成し、混乱なく、活動を中断することなく継続できる事業所を目指します。

デイサービスセンター・パール鉢山  
ホームページ▶





# 東京ケアリーダーズ 活動紹介

## 私が介護士になったきっかけ

ひろせ ふみか  
白十字ホーム 介護士 広瀬 史夏

私は介護の世界で働くようになってから5年目になります。しかし、入職するほんの一年前まで、私は「介護」を仕事にしようとも、したいとも思っていませんでした。では、なぜ私が「介護」の魅力を感じたのかについて触れたいとおもいます。

私の祖父が特別養護老人ホームに入所していた時の記憶はとて微かでわずかな物しか覚えていません。夜に仕事終わりの父の車で、祖父が入所している施設に会いに行きました。施設内は真っ暗で静かな空間がひろがっており、小学校2年生ぐらいの私は、ドキドキしながら廊下を歩いたのを覚えています。職員さんが案内してくださった広い部屋のと真ん中でポツンと敷布団の上で小さく寝ている祖父をみて、私は「かわいそう」という気持ちでいっぱいになりました。その時から、「介護」に対していいイメージを持つことが出来ませんでした。大学入学後、学科長の先生に「試しに介護の仕事をしてみたらどうか？」とお誘いを受けました。「とある施設で学生の夜勤バイトを探している。もし自分に合わないのであれば、辞めてもいい。ただ、真剣に検討してみたら？」と声を掛けられ、興味本位から夜勤バイトを始め、今働いている白十字ホームに入職しました。

いざ働いてみると、自分が小さい頃に感じた「かわいそう」という感情は全く感じず、毎日がとても新鮮で、ご利用者にとって同じ日が無いという事に気付きました。もちろん、うまくいかないことがあったり、亡くなったり、悔し涙を流したこともありましたが、それ以上に毎日が楽しいと思える日々が増えていくのが私はとても楽しく、「介護」の魅力に気付けたタイミングだったと思います。

東京ケアリーダーズのメンバーが全力で作成した「YOSUGA」には、そんな私のエピソードも含め、現役介護士たちからのアンケートを元に介護にまつわる魅力が沢山詰まった一冊となっています。タイトルの意味は「心のよりどころ」まさしく、介護士を表現している言葉だと思い、みんなで選びました。介護を知らない人も、興味が無い人も、もっと知りたい人も、ご家族様にも、手に取って読んでもらいたい一冊です。重版がかかりますように！どうぞ、よろしくお願いします。

▼「YOSUGA」のご購入は  
一部の大手書店または  
下記東社協HP（図書販売）から。  
定価：495円（税込）



「YOSUGA」より一部抜粋



# 生活相談員研修員会の取り組み

生活相談員研修委員会 代表幹事  
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部東京都済生会  
港区立特別養護老人ホーム港南の郷

生活相談員 こん どう のり ひこ  
**近藤 紀彦**



生活相談員研修委員会では「学び・交流・活力」を重点課題として、生活相談員のための各種研修会を企画運営、地域ごとのブロック会を開催し福祉業界の動向等の情報共有や意見交換、事例検討を行っております

- 「**学び**」については、新人生活相談員を対象としたソーシャルワークアカデミー、介護職員と合同でサービス提供に特化したサービスマナー研修会、福祉施設に降りかかる様々な問題に対応するリスクマネジメント研修会、ソーシャルワーク技術に特化したソーシャルワーク研修会を開催しております。また、研究機関としてソーシャルワーク検討小委員会を立ち上げております。
- 「**交流**」については、事業所ごとに小人数しか配置されず問題を1人で抱えることの多い生活相談員が、地域ごとのブロック会に出席することで、事業所間の横の繋がりを持てるようにしています。同じ問題を抱え解決に導く方法や、介護保険法改定、行政監査情報、他事業所の取り組み等を共有する機会は、生活相談員にとって変えることのできない経験になります。
- 「**活力**」については、ソーシャルワークヴィジョン小検討委員会にて、福祉業界活性化のためのソーシャルアクションやパブリックコメント提出を目指し、具体的根拠となりえる情報収集をしております。昨今、福祉業界では介護職員の処遇改善のみがクローズアップされて生活相談員については何も語られておりません。今後は、生活相談員についても「処遇改善」「地位向上」を大きく訴えていきたいと考えております。

## 生活相談員研修員会ブロック幹事募集

- 生活相談員は法人が違っていても皆仲間だと思っております。各ブロック会議の取りまとめや、各種研修会の企画運営を私達と一緒にいき、さらに強い絆の仲間になりませんか！ご興味のある方は、まずはブロック会に参加して幹事に声をかけてみてください。

**生活相談員は皆仲間！ 仲間のための活動を一緒にやってみませんか！！**

読者モニターからのご意見（一部抜粋） - 第50号 - 読者モニターの皆様からいただいたご意見を紹介します！

▶ 高齢協の歴史と今後の期待など理解できた。何より、歴代の会長が集まった座談会は読みごたえがありました。（第50号記念座談会）

▶ ゲームを通じて災害を学ぶツールがある事を初めて知りました。大変興味ある記事。（特集）

▶ 取り組みの大変だった所や、改善点、これから行う法人へのアドバイスなどもあればもっと良かった。（新時代旋風）

▶ きちんと自分のこととして覚えて、思い返して、大切にしていることに、素敵だなと思いました。（私の心に残るエピソード）



## 私の心に残るエピソード

特別養護老人ホームあすなろ

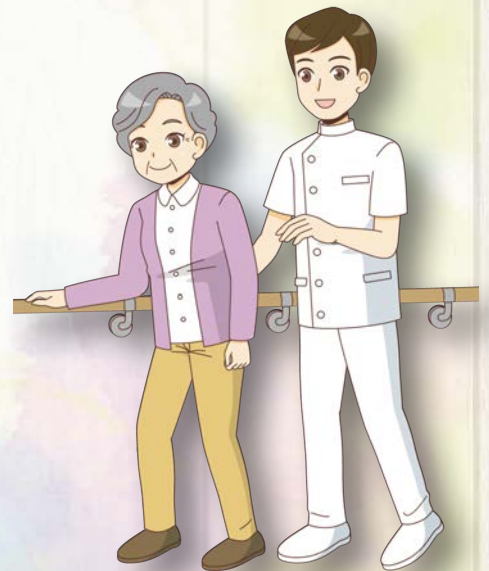
機能訓練指導員 まつむら たつや  
松村 辰也

機能訓練指導員として勤めた頃、集団体操・個別訓練と多くの方と向き合う中で、毎日行いたい、出来るけど行わない、難しいけど行いたいと様々なご要望あり日々悩んでいました。

その中で毎週火曜金曜日に歩行・文書書字訓練を行いとても楽しみにされ私も元気を頂ける利用者様がいました。月日を重ねADLや訓練内容も少しずつ変わりその都度「出来ることを続けましょう」とお伝え了承いただくも、ふと過去の訓練を思い出されたのか「もう歩いちゃダメなの」「もう歩けないの」と仰ることがあり、現状を伝え互いに苦しい思いをする時もありました。

更に月日を重ね施設内お看取り支援となり、部屋には写真などに加え訓練での文書書字作品を飾り、声をかけ手を握り小さく動かす訓練内容になるもこれまでの作品に囲まれ、その方の楽しみにされていた体操/訓練曜日に旅立たれました。

今でも様々なニーズに悩み考えることも多くありますが、その方から教わった「今できることをやる」ことの大切さを初心と共に思い出し、元気とヤル気をいただいております。



### 編集後記

今回の特集である「福祉・介護職場への就職や福祉を学ぶ学生のいま」コロナ禍の影響や現状」を読みながらコロナ過での急速なオンライン化を考え、ふと昔を思い出した。

1990年初頭、私が仕事をし始めたころ、私が海外友人と連絡を取るには国際電話かエメールアドレスがなかった。やがてパソコンを手し、Wordを利用することができるようになったが、パソコンは当時高価なものであった。パソコンが安価になり普及するにつれリアルタイムでコミュニケーションが取れるチャットで連絡を取るようになった。30年経った今では手元の携帯電話でリアルタイムに顔を見ながら連絡が取れるようになっていく。

お互いに歳を重ねたものの、当時と変わらぬ関係がそこにはある。それは「リアルにあっていた時間があるから今がある」と思うが、これは今や古い考えなのだろうか？

私たちは介護の仕事をしている。これはオンラインではできないことであり、ロボットやAIにもできない仕事である。これからは技術の発展を上手に活用し、人にしかできないことを考え、実践していくことが必要なのだろう。

社会福祉法人

恩賜財団東京都同胞援護会

軽費老人ホーム サンホーム

施設長 池田 清彦

アクティブ福祉

# 東京の介護って すばらしい グランプリ 2022

介護の魅力を伝えたい  
そのあなた!



ぜひ奮って  
応募ください!

最優秀賞  
5万円



高齢者福祉施設における多様な場面にスポットをあて、  
介護の仕事の魅力を広くPRする、年に一度のグランプリイベント。  
介護の魅力を伝えたい人なら、施設職員・利用者・ご家族などなど、どなたでも応募OK!  
優秀作品には豪華賞金・賞品をご用意しております。ぜひ奮ってご応募ください!

**応募期間** 2022年11月1日(火)~2023年1月9日(月・祝)

<b>募集部門</b>	動画部門 / 写真部門 / コラム部門 / レシピ部門
<b>賞金</b>	最優秀賞 <b>5万円</b> / 優秀賞 <b>3万円</b> / 入賞 <b>1万円</b> ※部門ごとに決定します。 ※最優秀賞1作、優秀賞2作、入賞3作の予定です。
<b>応募方法</b>	以下フォームより必要事項をご記入の上、 2023年1月9日(月・祝)までにご応募ください。 <a href="https://forms.gle/sfaF8MWnG99p6edS8">https://forms.gle/sfaF8MWnG99p6edS8</a> → 
<b>発表</b>	各部門の受賞作品は、WEBサイトにて発表・ 掲載を行います。 <a href="http://koureikyo.com/">http://koureikyo.com/</a> →  ※ページ内の最新情報をご覧ください。

**その他、豪華賞品あり!**

ヘラルポニー  
『エコバッグ』等、  
豪華賞品をご用意!

「介護ビジョン」など、  
有名介護情報誌での取材・  
記事掲載の可能性あり!

詳細は随時WEBで  
お知らせします!

